

# BEA VOICE

進化し続ける  
エンターテイナー。  
誰も見たことがない世界への挑戦。

## 三浦大知

LIVE

DAICHI MIURA  
LIVE TOUR 2018-2019 ONE END  
アリーナ公演

2/7 thu  
マリンメッセ福岡

### INTERVIEW

柴田淳

井上苑子

ROTH BART BARON

新作を携え、6年ぶりの全国ツアー決定!  
デビュー17年で初の境地へ。

“ちゃんと生で届けて初めて音楽だと思う”  
ポップな疾走感と切なさと。  
“二面性”をライブで感じてほしい。

《僕たちは、気が狂うほどのバラバラ感の中で生きている》  
世界中のフォーカスへ贈る、現代のフォーク・ロック・ミュージック。

H ZETTRIO / THE PINBALLS

12

No.475 December 2018  
The music magazine  
that charms you.



DECEMBER 2018 | 12 »

| TOPICS |

**Brand New Vibe**

9/24にメンバー6人での活動に終止符。KEIから敬太郎に名前を変更し、新たな決意をもってソロとなったBrand New Vibe。敬太郎発の新世界を全国の皆さんにお届けするツアーで、その新境地を聴いてみよう!  
>12/8(土) INSA

**the telephones**

メジャー・デビュー10周年のライブバンドが、まだライブをしたことのない県を駆け巡るツアーを開催!各サブタイトルにも彼らしさが。「とにかく、4年ぶりのツアーで燃えています」とのこと。  
>2/9(土) RAG-G [佐賀]

**QunQun**

ユニット名は九州を盛り上げる天使達。九州キューピットの格。九州発のアイドルユニットとして、福岡を中心に年間200本以上のイベント、お祭りに精力的に出演中。「18年を締めくくるスペシャルワンマンライブが決定!  
>12/16(日) DRUM Be-1

**島田秀平**

手相や都市伝説などで活躍中のお笑い芸人、島田がカラーカウンセリング界のカリスマ、木下代理子とともに手相と色彩心理学で完全自己診断!自分を知ることで最適な仕事や恋愛を見つける事が出来るトークショー。  
>2/10(日) 電気ビルみらいホール

**空想委員会**

恋と空気と、たまに闇。コトバと音がせめぎ合う3人組ギターロックバンド。“安全かつ健全にはしゃぎ、全員で楽しむ事”をテーマに様々な企画を開催中!  
>1/26(土) INSA  
>1/27(日) 熊本B.9 V2

**日食なつこ**

ピアノ弾き語りソロアーティスト。独自の歌詞と無二の声で人間の弱さと強さを表現する世界観は人の心の芯に突き刺さる。ルーツを再認識し、最高に凝った作品に仕上がったという1月発売のAI「永久凍土」にも注目。  
>2/11(月・祝) イムズホール

**THERE THERE THERES**

BELLRING少女ハートから楽曲とコンセプトを引き継いだ後継グループ。芸術性を追求した“魅せる”グループとして進化中。プリティッシュロック、サイケロックを基調とした演劇のような展開のステージが魅力。  
>1/27(日) DRUM SON

**Helsinki Lambda Club**

“ニューオルタナティブ”街道を爆進中のヘルシンキラムダクラブ。結成5周年でついにセカンドと銘打ったミニAI『Tourist』が12/5にリリース決定。「結局やりたいことをやりました」という作品の音に期待だ。  
>2/16(土) graf

**広瀬香美**

冬といえば広瀬香美。そのイメージのままにコンサートツアー2019~The Winter Show“雪”を開催。「大人が真面目に祭りを作り、広瀬香美という大きな流れの中で、さらなる爆発力を集結させたような一夜を皆さんにお届けします。  
>2/3(日) Zepp Fukuoka

**ASKA**

10/17にベストAI『Made in ASKA』『We are the Fellows』を同時リリース。来年は“Made in ASKA”40年のありつけたけ~”ツアーが開催され、彼がどのようなパフォーマンスを繰り広げるのか、注目が集まる!  
>2/19(火) 福岡サンパレスホテル&ホール

**スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2019**

'01年よりスタートのスペシャ主催、新人アーティストの登竜門!第139巻は、teto、Hump Back、2、ヤングオオハラの4バンドが出演。4者4様の天才が揃い踏み!伝説になるツアーをライヴ会場で目撃セヨ!  
>2/21(木) FUKUOKA BEAT STATION

**小谷美紗子**

本物の音楽を作り、歌い続け、デビュー22年。多くのミュージシャンや著名人からも支持される彼女の約2年ぶりの弾き語りツアーが決定。小さな身体からは想像できない大きめ力強い歌をぜひ生で聴いて欲しい。  
>2/23(土) ROOMS

**星野源**

シングル『アイデア』MVが2冠を受賞し、「19年8月公開映画の主演が決定するなど、多彩な才能と圧倒的人気の星野源、待望の3年ぶりとなるオリジナル5thアルバム『POP VIRUS』が12/19に発売決定!「19年には自身初の5大ドームでのアルバムツアーが開催される。ツアーファイナルは3/10(日)福岡 ヤフオク!ドーム!即完必至!  
>3/10(日) 福岡 ヤフオク!ドーム

**DYGL**

12月27日(土) FUKUOKA BEAT STATION

**田島貴男 (ORIGINAL LOVE)**

2月23日(土) 福岡都久志会館  
2月24日(日) 熊本八千代座

**BIGMAMA**

1月14日(月・祝) 福岡 DRUM Be-1

**bonobos**

ワニマンツアーニュ春ファンシーショウ2019

1月13日(日) 福岡 ROOMS

**比花知春**

4thワンマンライブ2018~Journey~  
12月22日(土) 福岡 ROOMS

**Lenny code fiction**

1月19日(土) 福岡 DRUM SON

**moumoon**

2月9日(土) 福岡 DRUM Be-1

**ネクライトーキー**

「ONE!リースニアーライブ」オーキートーキー全国版

ゲストパフォーマンス: ベランパレード

2月10日(日) 福岡 INSA

**MONGOL800**

20th ANNIVERSARY TOUR

"Life is peaceful 2018-2019"

12月24日(月・祝) 佐賀鳥栖市民文化会館

**在日ファンク**

1月12日(土) FUKUOKA BEAT STATION

**青葉市子**

ichiko aoba op tour 2018-2019

2月16日(土) 日本福音ルーテル博多教会

**山崎育三郎**

2月2日(土) 福岡国際会議場メインホール

**青野美沙稀 & The Jackpot**

2月2日(土) 福岡 LIVE HOUSE CB

# 三浦大知

取材／文：里中瞳



## New Single『Blizzard』

12.19 ON SALE SONIC GROOVE

映画「ドラゴンボール超 ブロリー」の主題歌にも起用された、通算24枚目のシングル。疾走感溢れるクールなアッパンバーは、現在開催中のライブでも抜群の盛り上がりを見せている。

CD+DVD／¥1,944(tax in)  
CDシングル／¥1,296(tax in)  
CDシングル(映画「ドラゴンボール超 ブロリー」オリジナルジャケット盤)／¥1,296(tax in)

誰も見たことがない世界への挑戦。  
進化し続ける  
エンターテイナー。

なるほど難しくなるようにも思うが、彼は首を振る。「1つを作ると次はこうしようって、不思議とアイディアが出てくる。もちろん細かい部分で悩んだりはしますが、基本的に作り続ければ、アイディアは出てくるものだと思います。」  
5、6月にやった球体のツアーは一人で行うものだったので、逆に次はわかりやすくみんなどつながることができる音楽ライブにしたくて、チームと意見を交わしながら今回のツアーが生まれた感じです。だからチームと話し合ってることは大事ですね。そう考えると、福岡はツアー中にスタッフさんと懇親会をすることが多い、昨日もそうでした(笑)」。

実験的な試みでもあった。球体。のツアーから3ヶ月で、今ツアーを始動。得るもののが大きかったと語る。球体は、さっそく次の構想に影響を与えていた。「三浦大知の人生を考えて、舞台としてひとつの方にチャレンジできるなど。だから浦は、今ツアーでギターの弾き語りも披露している。準備の多さを想像させるが、本人は意外と大変すごく成長できました。何をしてきたので、さらにいろんな見せ方を軸にしながら、やつたことのないものにチャレンジするつもりです」。期待してほしいと胸を張る三浦は、今ツアーでギターの弾き語りを見せない。「単純に欲張りなだけです(笑)。いろいろやってみたいと

いう素直な衝動というか。演出としてギターが必要であれば、じゃあ練習してやろう。という感じで、高みは目指しても、学ぶことを意識しているわけではないですね。でも以前ライブでトランボリンを使つたんですけど、危ない挑戦はもうやめます(苦笑)」。  
万が一、生み出すことに立ち止まってしまった時、チームを率いる立場の三浦大知には心強い先輩の「降りてきた」という天才タイプではないで、地道に、考えなきや!と絞り出して練つて、疲れてしまう時もあります。そんな時は、存在があるという。「僕は決してKREVAさんと同じ飯に行くことがない刺激になります。お互いグループから口になつて、一人だからこそ通る悩みとかを共有してくださるんです。空間を掌握する能力が本当に高くて、人の気持ちを汲み取り、リーダーシップを求められるシーンで言うべきこととか、凄く勉強になります。共通して、ものづくりが好きなんですね。一人な分ずごく心強いですね」。

KREVA氏しかし、三浦大知だからこそ実現できたコラボレーションの数々は、今ツアーでも工夫した演出で披露されている。多様なコラボは、三浦大知の柔軟さはもちろん、音楽シーンで独自のポジションを築いていることも物語る。その立ち位置を自覚しているという今、世界を視野にした使命感が彼を支える。「せつかく表現者として人生を送らせてもらっているので、次の世代に残していくようなものを生

## PROFILE

### 三浦大知(ミウラダイチ)

'87年、沖縄県生まれ。Folderのメインヴォーカルとして'97年にデビュー。'05年にソロ・デビューを果たし、天性の歌声とリズム感、抜群の歌唱力と世界水準のダンスで人々を魅了し、コレオグラフやソングライティング、楽器も操るエンターテイナーとして、音楽シーンで独自のポジションを確立。'17年にレコード大賞優秀作品賞を受賞。'18年には初のベスト盤をリリースし、年末には昨年に続き紅白への出場が決定している。

<https://avex.jp/daiichi/>

み出していけたらと思います。日本語の楽曲が世界中で流れるようになって、その中で、三浦大知、新曲出たんだ。となれたら嬉しいですしそりいろんな所へ少しずつ届けていくよう今は目の前のことを見ています。丁寧に頑張ることが大事だと思っています。ワクワクしながら、トイレする人生を楽しみたいですね」。最後に、歌とダンスだけでなく、楽器演奏や歌詞制作など、何でも器用にこなす彼に苦手とするもの聞いてみた。「苦手や欠点はいっぱいありますよ!むしろできないこともあります。ただけで、皆さんに見ていただいていたが、案外30分前はまだヘアメイクをしているタイミングだとか。「そう、けつこうギリギリなんですよね」と屈託なく苦笑いを浮かべる。緊張感漂う開演前を想像していたが、案外30分後には圧倒的なオーラを放つエンターテイナーとなる。緊張感漂う開演前を想像していたが、案外30分後はまだヘアメイクをしているタイミングだとか。「そう、けつこうギリギリなんですよ(笑)。あとリハーサルの映像をチェックしたり。澄ましてステージに出来ますけど、直前まで何かしらやっています(笑)」。



前ツアーや球体では、歌とダンス

でコンセプチュアルな完全独演ライブに挑戦し、20年に渡りビルアップを図ってきた表現者としての真髓を世に知らしめた三浦大知。期待が寄せられた平成最後のツアーオネエンドは、ダンサーとバンドで作り上げる構成で、これまで培ってきたアーティストの厚みを浮彫りにさせるステージとなっていました。2月からは、ツアーやのクライマックスとなるアリーナ公演が福岡から始動。日本レコード大賞優秀作品賞ノミネート、紅白出場も近年の活躍の集大成のひとつでもある。11月、大盛況に終わった福岡サンパレス2Days公演の合間、ツアーやの手応えについて聞いた。

なるほど難しくなるようにも思うが、彼は首を振る。「1つを作ると次はこうしようって、不思議とアイディアが出てくる。もちろん細かい部分で悩んだりはしますが、基本的に作り続ければ、アイディアは出てくるものだと思います。」

5、6月にやった球体のツアーやは、一人で行うものだったので、逆に次はわかりやすくみんなどつながることができます。そこでできる音楽ライブにしたくて、チームと意見を交わしながら、実際に作り続ければ、アイディアは出てくるものだと思います。」

部屋で悩んだりはしますが、基本的には一度や二度でいいから、アイディアが出てくるものだと思います。

部屋で悩んだりはしますが、基本

「新しい音楽の入り口を探している、それを追求してやっているところがあるのとそのような感じがあつたならばそれはとても嬉しいです」(M)。来る福岡公演では「思いつきりはつちやけたい。持てる力を全部出すつもりです」(M)と頼もしい。さうに「19年は元日の『lourney』を皮切りに12ヶ月連続で新曲配信という歓喜のニュースも! 異能のトリオ益々の熱狂と昂揚は、以下、N-IREボイスで再生しながらお待ちあれ。

「人生はすつと続く旅のよつたなもの。19年もまだ見ぬ新大陸を目指して、人生の大海上に乗り出していくたいと思つてます」。

※「SPEED MUSIC -ソクントノイガク-」(アレヒヤ祭)が奈川区内における「時代を超えた名曲」を選曲し、ビート感溢れる独創的なアレンジで毎週カバー。多世代問の橋渡しとなり世代を超えた興奮と感動を届ける。番組HP内ではカヴァーした全楽曲の映像を公開中。番組HP:sokudonoongaku.com



# H ZETTRIO

怒涛の1年を締めくくる年末ツアー開催!  
おわりとはじまりの【Feel Good!!! 18/19】

取材／文：山崎聰美

A photograph of three men dressed in black top hats and black suspenders over patterned shirts. The man on the left is looking upwards, the middle one is pointing his finger towards the camera, and the man on the right is wearing sunglasses.

H ZETTRIO(エイチゼットリオ)

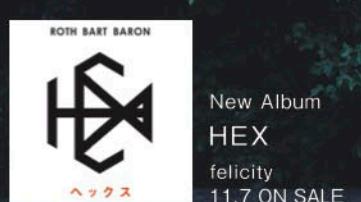
青鼻のピアノマン・H ZETT M率いるトリオ。H ZETT NIRE(Ba 赤真)、H ZETT KOU(Dr 銀巻)と共に、ジャズ、クラシック、ポップスがクロスオーバーしユーモアとエンターテインメントが躍動する特異且つ創造的な、唯一無二の音楽とグループを追求し続けている。「13年のデビュー以降これまでにオリジナルアルバム4作他ライヴ盤や企画盤を発表、配信限定シングルの連続リリースも話題を呼んでいる。18年は4作目のオリジナルアルバム「Mysterious Superheroes」を3月にリリース、6月には全国ツアーを敢行し、8月日比谷野音でツアーファイナル。秋には中国(香港・広州)でライヴ開催。台湾でも北ジャズフェス出演とグローバルに活動中。  
<http://hzettro.info/>

君がおもむかしく歌う。最後に語る『コンピュータで作れるヒップホップ全盛のバンドサウンドが聴かれないと時代でも僕らはフォーレギターを持つて歌う。テクノロジーは手段でしかない。エレクトリックだろうがフォークだろうが、僕らが目標としてるのはいいソングを作ることなんだよ』

# ROTH BART BARON

『僕たちは、気が狂うほどのバラバラ感の中で生きている』  
世界中のフォーラスへ贈る、現代のフォーク・ロック・ミュージック。

取材／文：山崎聰美



ROTH BART BARON

(ロット・バルト・バロン)  
三船雅也(Vo.Gt.)、中原铁也(Dr.)によるユニット。  
京出身。08年結成。1st EP「ROT BART BARON」(10)、2nd EP「化け物山と合唱団」(12)、1st AL「ロット・バルト・バロンの水河期」(14)、2nd AL「ATOM」(15)、3rd EP「dying for」(17)を経て、様々なスタイルができるまで約2年、曲にして120曲を費やした  
いう長い苦戦を経て最高傑作「HEXA」をリリース。  
発売元アーティカル・ブルーは2周年、年明け初ライブとなる際、  
ではアコースティックで、習日の福岡ではフルのバンド  
ウンドで、今度は二通りのスタイルで楽しめる2Days!  
<https://www.rottbartbaron.com/>

LIVE! ROTH BART BARON  
詳しく述べ「BEA-NET」をご覧下さい。 "HEX" TOUR 2018-2019  
1.13(日)福岡UTERO  
Opening Act:hoppe

07

に歌うシンガー・シンゲルタイタ、柴田淳が、前作「私は幸せ」から約1年ぶり、通算12作目のオリジナル・アルバム「ブライニーケル」をリリースした伴って6年ぶりとなる全国ツアーも遂に決定、来年2月には福岡市民会館のステージに立つ。「ライヴやりたくない！」とこれまで言い続けてきた柴田淳の変容と新作について訊いた。

「前作を作つてからツアーワーをやらなかつたので、スケジュールが真っ白でアルバム出したのに、あれ？」と(笑)私の場合、制作してると、ライヴやつてるか以外はやることが何にもないんです。〆切がないと曲も作れないタイプなので。そういう感じだから、前作作った後の空白に「私、なんにもない人間だな」とつて思っちゃつて。それで、自主的に今年の初めに曲を創作して、レコードイングしたりして、動き出しました。あと、前作作った時が(前々作から)2年8ヶ月ぶりだったのでツアーもしないで、休み過ぎだなとも思つたんですね。もういい加減

「前作を作つて、もうソニーは結流れてしまつて…つらうことがあつたので、もうソニーもやらない」と、今回はソニーも決めたんですね。の時の「休み過ぎた！」つて気持が、今もずっと続いてるかもしないですね」

柴田淳としてはあまりない能動的はじめりだ。反面、その根本にあつるのはシンガー・ソングライターとしてやつての自覚すらもうわからなくなつてたんです。制作ばかりを家にこつでずつと、人にも会わずにやつるわけで、そうするとりリースはしも、世に発表してくる感覺がどんどんよくなつてきて、聴いてくれる人の顔見えなくなつて、現実よりもつぼみ田淳って存在してないんじやないレベルのことを、本気で思つてしまつての自信を取り戻すために、アバムを作つたりソニーを企画しただけ

自身の活動やライブ、「ツアーハンブルグ」への前往き、外向きの姿勢を語る一方、制作においては周囲との接触を一切断つて引き籠り、自らを極限状態にまで追いや込んで制作するスタイルはなまない。そうしないと描めないと何か――それが彼女のアイデンティティであります。



# 柴田淳

新作を携え、6年ぶりの全国ツアー決定!  
デビュー17年で初の境地へ。  
“ちゃんと生で見て初めて音楽が上手い”

ちゃんこ生



New Album  
**ブライニクル**  
ピクターエンタテインメント  
NOW ON SALE

JUN SHIBATA CONCERT TOUR 2019  
月夜PARTY vol.5  
～お久しぶりっ子、6年ぶりっ子～  
**2.8(金)** 福岡市民会館



